



CHAPTER 12

グローバル サーバ ロードバランシングの設定情報の表示

Global Site Selector (GSS) では、GSS グローバル サーバ ロードバランシングの設定情報を表示する広範囲の **show gslb-config** コマンドセットを提供しています。これらのコマンドにより、ご使用の GSS 設定のリソース、ドメイン、キープアライブ、回答、DNS 規則、およびプロキシミティの情報を表示できます。**show gslb-config** コマンドは、インターフェイス コンフィギュレーション モードを除くすべての CLI(コマンドライン インターフェイス)モードで使用できます。

この章の内容は、次のとおりです。

- リソースの設定情報の表示
- 送信元アドレスの設定情報の表示
- ドメインの設定情報の表示
- キープアライブの設定情報の表示
- 共有キープアライブの設定情報の表示
- 回答の設定情報の表示
- 回答グループの設定情報の表示
- DNS 規則の設定情報の表示
- DNS スティックの設定情報の表示
- DNS プロキシミティの設定情報の表示
- 次の作業

リソースの設定情報の表示

GSS のロケーション、所有者、リージョン、およびゾーンについての設定情報を表示する場合は、**show gslb-config location**、**show gslb-config owner**、**show gslb-config region**、**gslb-config zone** コマンドを使用します。

ロケーションの設定情報の表示

GSS 上に現在設定されているロケーションの情報を表示する場合は、**show gslb-config location** コマンドを使用します。

show gslb-config location コマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config location [location_name]
```

location_name 引数は、事前に作成済みのロケーションの名前を指定します。変数を、大文字と小文字を区別する単純文字列で入力します。

表 12-1 に、**show gslb-config location** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-1 show gslb-config location コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
Location	ロケーション名
Region	ロケーションに関連付けられたリージョン
Zone	ロケーションに関連付けられたゾーン
Comments	ロケーションについての説明

所有者の設定情報の表示

GSS 上に現在設定されている所有者の情報を表示する場合は、**show gslb-config owner** コマンドを使用します。

show gslb-config owner コマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config owner [owner_name]
```

owner_name 引数は、事前に作成済みの所有者の名前を指定します。変数を、大文字と小文字を区別する単純文字列で入力します。

表 12-2 に、**show gslb-config owner** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-2 show gslb-config owner コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
Owner	所有者名
Comments	所有者についての説明

リージョンの設定情報の表示

GSS 上に現在設定されているリージョンの情報を表示する場合は、**show gslb-config region** コマンドを使用します。

show gslb-config region コマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config region [region_name]
```

region_name 引数は、事前に作成済みのリージョンの名前を指定します。変数を、大文字と小文字を区別する単純文字列で入力します。

表 12-3 に、**show gslb-config region** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-3 show gslb-config region コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
Region	リージョン名
Comments	リージョンについての説明

ゾーンの設定情報の表示

GSS 上に現在設定されているゾーンの情報を表示する場合は、**show gslb-config zone** コマンドを使用します。

show gslb-config zone コマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config zone [zone_name]
```

zone_name 引数は、事前に作成済みのゾーンの名前を指定します。変数を、大文字と小文字を区別する単純文字列で入力します。

表 12-4 に、**show gslb-config zone** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-4 show gslb-config zone コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
Zone	ゾーン名
Backup IP address	ゾーンを処理するバックアップ プローブ装置の IP アドレス
Index	ゾーンの数值 ID
Probe IP Address	ゾーンを処理するプライマリ プローブ装置の IP アドレス

送信元アドレスの設定情報の表示

GSS の送信元アドレスのリストおよび送信元アドレスについての設定情報を表示する場合は、**show gslb-config source-address-list** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config source-address-list [source-address-list_name]
```

source-address-list_name 引数は、事前に作成済みの送信元アドレス リストの名前を指定します。変数を、大文字と小文字を区別する単純文字列で入力します。

表 12-5 に、**show gslb-config source-address-list** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-5 show gslb-config source-address-list コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
Source address list	送信元アドレス リストの名前
Owner	送信元アドレス リストに関連付けられた所有者の名前
IP address	送信元アドレス リストのクライアント Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) プロキシの IP アドレスまたは Classless Interdomain Routing (CIDR; クラスレス ドメイン間ルーティング) アドレス ブロック
Comments	送信元アドレス リストの説明

ドメインの設定情報の表示

GSS のドメイン リストおよびドメインについての設定情報を表示する場合は、**show gslb-config domain-list** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config domain-list [domain-list_name]
```

domain-list_name 引数は、事前に作成済みのドメイン リストの名前を指定します。変数を、大文字と小文字を区別する単純文字列で入力します。

表 12-6 に、**show gslb-config domain-list** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-6 show gslb-config domain-list コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
Domain address list	ドメイン リストの名前。
Owner	ドメイン リストに関連付けられた所有者の名前。
Domains	GSS が信頼できる DNS サーバとして動作するドメイン リストに属するホステッド ドメインの名前。
Comments	ドメイン リストの説明。

キープアライブの設定情報の表示

GSS のキープアライブ プロパティについての設定情報を表示する場合は、**show gslb-config keepalive-properties** コマンドを使用します。表示された出力では、ICMP、TCP、HTTP HEAD、KAL-AP、CRA、および NS タイプ のキープアライブの現在設定されているプロパティが示されます。高速および標準障害検出モードのプロパティは、ICMP、TCP、HTTP HEAD、KAL-AP、および Scripted Kal キープアライブ タイプに対して表示されます。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config keepalive-properties
```

表 12-7 に、**show gslb-config keepalive-properties** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-7 show gslb-config keepalive-properties コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
ICMP キープアライブ — 標準障害検出モード	
interval min	GSS が ICMP キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度を指定する値
ICMP キープアライブ — 高速障害検出モード	
retries	GSS が装置がオフラインであることを宣言するまでに ICMP エコー要求パケットを再送する回数指定する値
successful probes	回答をオンラインに戻すまでに、GSS が認識する必要がある連続で成功した ICMP キープアライブ試行（プローブ）数
TCP キープアライブ — 標準障害検出モード	
port	GSS からの TCP タイプのキープアライブ要求を受信する予定のリモート装置上のポート
termination	GSS が TCP 接続の切断を開始する方法（グレースフルまたはリセット）
timeout	GSS が要求に応答していない装置にデータを再送するまでの許容時間長

表 12-7 show gslb-config keepalive-properties コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
interval min	GSS が TCP キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度
TCP キープアライブ — 高速障害検出モード	
port	GSS からの TCP タイプのキープアライブ要求を受信する予定のリモート装置上のポート
termination	GSS が TCP 接続の切断を開始する方法 (グレースフルまたはリセット)
retries	GSS が装置がオフラインであることを宣言するまでに TCP パケットを再送する回数
successful probes	回答をオンラインに戻すまでに、GSS が認識する必要がある連続して成功した TCP キープアライブ試行 (プローブ) 数
HTTP HEAD キープアライブ — 標準障害検出モード	
port	GSS から HTTP HEAD タイプのキープアライブ要求を受信する予定のリモート装置上のポート
path	HTTP HEAD 要求でクエリーの送信先のサーバ Web サイト (たとえば、/company/owner)
termination	GSS が HTTP HEAD 接続の切断を開始する方法 (グレースフルまたはリセット)
timeout	GSS が要求に応答していない装置にデータを再送するまでの許容時間長
interval min	GSS が HTTP HEAD キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度
HTTP HEAD キープアライブ — 標準障害検出モード	
port	GSS からの HTTP HEAD タイプのキープアライブ要求を受信する予定のリモート装置上のポート
path	HTTP HEAD 要求でクエリーの送信先のサーバ Web サイト (たとえば、/company/owner)
termination	GSS が HTTP HEAD 接続の切断を開始する方法 (グレースフルまたはリセット)

表 12-7 show gslb-config keepalive-properties コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
interval min	GSS が HTTP HEAD キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度
KAL-AP キープアライブ — 標準障害検出モード	
capp-key	Content and Application Peering Protocol (CAPP) 暗号化で使用される秘密鍵
interval min	GSS が KAL-AP キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度
KAL-AP キープアライブ — 高速障害検出モード	
capp-key	CAPP 暗号化で使用される秘密鍵
retries	GSS が装置がオフラインであることを宣言するまでに KAL-AP パケットを再送する回数
successful probes	回答をオンラインに戻すまでに、GSS が認識する必要がある連続して成功した KAL-AP キープアライブ試行 (プローブ) 数
Scripted Kal キープアライブ — 標準障害検出モード	
interval min	GSS が Scripted Kal キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度を指定する値
Scripted Kal キープアライブ — 高速障害検出モード	
retries	GSS が装置がオフラインであることを宣言するまでに、Scripted Kal キープアライブ要求パケットを再送する回数を指定する値
successful probes	回答をオンラインに戻すまでに、GSS が認識する必要がある連続して成功した Scripted Kal キープアライブ試行 (プローブ) 数
CRA キープアライブ	
cra-timing-decay	GSS が 以前の Round Trip Time (RTT; ラウンドトリップ時間) メトリックと比較して、新しい DNS RTT プロブ結果のウェイトを大きくするのに使用する値
interval min	GSS が CRA キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度

表 12-7 show gslb-config keepalive-properties コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
Name Server キープアライブ	
query-domain	Name Server (NS; ネーム サーバ) タイプのキープアライブが送信されるドメイン ネーム サーバの名前
interval min	GSS が NS キープアライブをスケジューリングしようとする最小頻度

共有キープアライブの設定情報の表示

共有キープアライブついでの設定情報を表示する場合は、**show gslb-config shared-keepalive** コマンドを使用します。表示された出力では、ICMP、TCP、HTTP HEAD、KAL-AP、および Scripted のキープアライブの共有キープアライブの現在設定されているプロパティが示されます。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config shared-keepalive [ip_address]
```

ip_address の引数は、任意の事前設定された共有キープアライブに指定された IP アドレスを指定します。

表 12-8 に、**show gslb-config shared-keepalive** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-8 show gslb-config shared-keepalive コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
ICMP 共有キープアライブ	
ip_address	リンクされた VIP のオンライン状況をテストするのに使用される IP アドレス
TCP 共有キープアライブ	
ip_address	リンクされた VIP のオンライン状況をテストするのに使用される IP アドレス
port	GSS からの TCP タイプのキープアライブ要求を受信する予定のリモート装置上のポート
termination	GSS が TCP 接続の切断を開始する方法（グレースフルまたはリセット）
HTTP 共有キープアライブ	
ip_address	リンクされた VIP のオンライン状況をテストするのに使用される IP アドレス
port	GSS からの HTTP HEAD タイプのキープアライブ要求を受信する予定のリモート装置上のポート
host tag	HTTP HEAD クエリーの一部として VIP に送信されるドメイン名

表 12-8 show gslb-config shared-keepalive コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
path	HTTP HEAD 要求でクエリーの送信先のサーバ Web サイトに関連するパス
KAL-AP 共有キープアライブ	
ip_address	リンクされた VIP のオンライン状況をテストするのに使用される IP アドレス
secondary ip_address	VIP 冗長設定および仮想インターフェイス冗長設定のセカンド Cisco Content Services Switch (CSS) または Content Switching Module (CSM) にクエリーを送信するのに使用される IP アドレス
capp-secure enable	capp-secure オプションがイネーブルかどうかを示します。CAPP 暗号化を使用する場合は、このオプションをイネーブルにする必要があります。
key	CAPP を使用するボックス間通信の暗号化に使用される暗号鍵
retries	GSS が装置がオフラインであることを宣言するまでに KAL-AP パケットを再送する回数。高速障害検出モードでのみ適用可能
successful probes	回答をオンラインに戻すまでに、GSS が認識する必要がある連続して成功した KAL-AP キープアライブ試行 (プローブ) 数。高速障害検出モードでのみ適用可能
Scripted Kal 共有キープアライブ	
ip_address	リンクされた VIP のオンライン状況をテストするのに使用される IP アドレス

回答の設定情報の表示

設定済みの回答の現在のプロパティ設定を表示する場合は、グローバル サーバ ロードバランシング コンフィギュレーション モードで **show gslb-config answer** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config answer [ip_address {type} | name]
```

このコマンドの変数は、次のとおりです。

- *ip_address* — (オプション) IP アドレスを指定する回答。ドット付き 10 進表記の単純文字列で入力します。
- *type* — 指定された IP アドレスの回答タイプ。有効なオプションは、次のとおりです。
 - **cra** — CRA タイプの回答を指定します。
 - **ns** — NS タイプの回答を指定します。
 - **vip** — VIP タイプの回答を指定します。
- *name* — (オプション) 指定された名前を使用する回答。

表 12-9 に、VIP、CRA、および NS タイプの回答の **show gslb-config answer** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-9 show gslb-config answer コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
VIP タイプの回答の出力	
type	回答タイプ (VIP)
ip_address	回答の VIP アドレス フィールドこれは、GSS が要求を転送する VIP アドレスです。
name	回答のオプション名
location	回答が関連付けられるオプションのロケーション名
active/suspend	回答の現在のステート (アクティブまたは中断)

表 12-9 show gslb-config answer コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
keepalive type (および設定情報)	キープアライブのタイプ (ICMP、TCP、HTTP、HEAD、KAL-AP、または Scripted Kal) これらのキープアライブタイプの出力の詳細に関しては、「キープアライブの設定情報の表示」(p.12-7) を参照してください。
CRA タイプの回答の出力	
type	回答タイプ (CRA)
ip_address	CRA のインターフェイスまたは回線アドレス
name	回答のオプション名
location	回答が関連付けられるオプションのロケーション名
enable/disable	イネーブルの場合、GSS が回答にキープアライブ確認を実行します。ディセーブルの場合、GSS が単方向遅延によりスタティックな RTT を計算します。
delay	GSS がスタティックな RTT を計算するのに使用する単方向遅延時間 (ミリ秒)
active/suspend	回答の現在のステート (アクティブまたは中断)
NS タイプの回答の出力	
type	回答タイプ (NS)
ip_address	GSS がその要求を転送するネーム サーバ
name	回答のオプション名
enable/disable	イネーブルの場合、GSS がネーム サーバにキープアライブ確認を実行します。ディセーブルの場合、GSS はネーム サーバが常にオンラインであると想定します。
domain	(オンライン状況を決定するため) NS タイプ キープアライブの送信先の DNS サーバの名前
active/suspend	回答の現在のステート (アクティブまたは中断)

回答グループの設定情報の表示

設定済みの回答の現在のプロパティ設定を表示する場合は、グローバルサーバロードバランシング コンフィギュレーション モードで **show gslb-config answer-group** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config answer-group [name]
```

name 変数は、特定の回答グループの名前を指定します。

表 12-10 に、VIP、CRA、および NS タイプの回答の **show gslb-config answer-group** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-10 show gslb-config answer-group コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
type	回答グループのタイプ (CRA、NS、または VIP)
name	回答グループのオプション名
owner	回答グループが関連付けられるオプションの所有者名

DNS 規則の設定情報の表示

設定済みのすべての DNS 規則および各規則の分散句の現在のプロパティ設定を表示する場合は、グローバル サーバ ロードバランシング コンフィギュレーション モードで **show gslb-config dns-rule** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config dns rule [name]
```

name 引数は、事前に作成済みの DNS 規則の名前を指定します。

表 12-11 に、**show gslb-config dns-rule** コマンド出力のフィールドについて説明します。VIP、NS、および CRA タイプの回答グループの分散句の出力も示します。

表 12-11 show gslb-config dns-rule コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
dns rule name	DNS 規則の名前
owner	規則が関連付けられる所有者の名前
source address list	要求の送信元である送信元アドレス リストの名前
domain list	DNS クエリーの宛先ドメイン リストの名前
query	規則に適用される (1 つまたはすべての) DNS クエリータイプ
sticky method	GSS が DNS 規則の DNS ステイッキ性をサポートする方法 (ドメインまたはドメイン リストによって) を示します。
timeout	ステイッキ データベースがエントリへのルックアップ要求を受信しないまま経過可能な時間間隔。この値は、(この DNS 規則に対する) グローバル値を上書きしません。
VIP タイプの回答グループが使用する分散句の出力	
clause number	分散句番号 (1、2、または 3)
vip-group name	句に指定された回答グループの名前
method	分散句の方式タイプ。(round-robin、least-loaded、ordered、weighted-round-robin、または hashed)

表 12-11 show gslb-config dns-rule コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
ttl number	要求元の DNS プロキシが GSS から送信された回答をキャッシュしてから、有効な回答であると判断するまでの時間 (秒)
count number	要求元の DNS プロキシが GSS から送信された回答をキャッシュしてから、有効な回答であると判断するまでの時間 (秒)
NS タイプの回答グループが使用する分散句の出力	
clause number	分散句番号 (1、2、または 3)
vip-group name	句に指定された回答グループの名前
method	分散句の方式タイプ (round-robin 、 ordered 、 weighted-round-robin 、または hashed)
CRA タイプの回答グループが使用する分散句の出力	
clause number	分散句番号 (1 または 2)
vip-group name	句に指定された回答グループの名前
ttl number	要求元の DNS プロキシが GSS から送信された回答をキャッシュしてから、有効な回答であると判断するまでの時間 (秒)
fragment number	GSS が DNS 規則と一致する要求に対して戻すアドレスレコード (A レコード) の数
ip-ttl number	DNS 規則との一致から CRA に回答を戻す場合に利用されるネットワーク ホップの最大数
max-prop-delay number	GSS のブーメラン サーバ コンポーネントが CRA に DNS 要求を転送するまでに発生する最大伝播遅延 (ミリ秒)
method boomerang	ブーメラン DNS レースを使用して最適なサイトを判別する DNS 規則
pad	各 CRA 回答パケットに格納される追加データ サイズ (バイト)

表 12-11 show gslb-config dns-rule コマンドのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
secret key	GSS ブーメラン サーバと CRA 間で送信される機密データを暗号化するために使用される鍵
server-delay number	GSS のブーメラン サーバ コンポーネントが要求側ネーム サーバへの応答として「一番最後」のサーバのアドレスを戻すまでに発生する最大遅延 (ミリ秒)

DNS スティックの設定情報の表示

グローバル スティック グループおよびグローバル スティック プロパティの情報を表示する場合は、**show gslb-config sticky-group** および **show gslb-config sticky-properties** コマンドを使用します。現在設定されている DNS 規則のスティッキ方式の情報を表示する場合は、「[回答の設定情報の表示](#)」(p.12-13)を参照してください。

グローバル スティック グループ情報の表示

グローバル スティック グループの情報を表示する場合は、**show gslb-config sticky-group** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config sticky-group [name]
```

name 引数は、事前に作成済みのスティッキ グループの名前を指定します。

表 12-12 に、**show gslb-config sticky-group** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-12 show gslb-config sticky-group コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
name	事前に作成済みのスティッキ グループの名前
ip_address	スティッキ グループの IP アドレス
netmask	スティッキ グループのネットマスク

グローバル スティックのプロパティ情報の表示

グローバル スティックの設定情報を表示する場合は、**show gslb-config sticky-properties** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config sticky-properties
```

表 12-13 に、`show gslb-config sticky-properties` コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-13 `show gslb-config sticky-properties` コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
enable	スティッキ性のイネーブル ステート (グローバルまたはローカル)
mask network	スティッキ データベースがサポートできるクライアント数を増やすために、GSS が連続する D プロキシのアドレスを均一にグループ化するのに使用するグローバル サブネット マスクの値
timeout	使用されていない回答がスティッキ データベース内で有効のままである期間

DNS プロキシミティの設定情報の表示

グローバル プロキシミティ グループおよびグローバル プロキシミティのプロパティ情報を表示する場合は、**show gslb-config static-proximity** および **show gslb-config proximity-properties** コマンドを使用します。

グローバル プロキシミティ グループ情報の表示

グローバル プロキシミティ グループの情報を表示する場合は、**show gslb-config static-proximity** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config static-proximity [name]
```

name 引数は、事前に作成済みのプロキシミティ グループの名前を指定します。

表 12-14 に、**show gslb-config static-proximity** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-14 show gslb-config static-proximity コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
name	事前に作成済みのプロキシミティ グループの名前
ip_address	プロキシミティ グループの IP アドレス
netmask	プロキシミティ グループのネットマスク

グローバル プロキシミティのプロパティ情報の表示

グローバル プロキシミティの設定情報を表示する場合は、**show gslb-config proximity-properties** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
show gslb-config proximity-properties
```

表 12-15 に、**show gslb-config proximity-properties** コマンド出力のフィールドについて説明します。

表 12-15 show gslb-config proximity-properties コマンドのフィールド説明

フィールド	説明
enable	グローバル プロキシミティのイネーブル ステート
mask network	Proximity Database (PDB; プロキシミティ データベース) 内でサポートされる D プロキシの数を増やすために、GSS が連続する D プロキシのアドレスを均一にグループ化するのに使用するグローバル サブネット マスク
timeout minutes	GSS が、PDB がロックアップ要求を受信しないエントリーを削除するまでに経過可能な最大時間間隔
equivalence number	GSS が同様に近接であるとみなす必要がある他のゾーンの相対的な RTT 値を特定するために、最も近接な (最短の) RTT 値に適用する割合値
refresh-interval hours	PDB 内のエントリーの RTT 値をプローブおよびアップデートするリフレッシュ プロロービング プロセスの頻度
discovery-sequence	Cisco IOS ベースの ルータが、プローブ検出プロセス時に要求元クライアントの D プロキシとともに最初に使用するプローブの方式タイプ
acceptable-rtt number	GSS が最も近接な回答を判別する場合に、許容可能な RTT 値として使用する値
acceptable-zone number	GSS が、許容可能な数のゾーンが有効な RTT 値戻しているかどうかを判別するのに使用する割合値
wait enable	待機のイネーブル ステート。イネーブルの場合、GSS はプロキシミティ設定に基づいて適切な RTT およびゾーンの情報を受信するまで、プロキシミティ選択の実行を待機します。
authentication drp enable	認証 drp のイネーブル ステート。イネーブルの場合、GSS は DRP 鍵を交換することにより、プローブ装置内の DRP エージェントとの交換パケットを認証します。
key drp	設定済みの DRP 鍵のすべての ID 番号および名前

次の作業

第13章「[GSS グローバルサーバロードバランシング統計情報の表示](#)」では、ネットワーク上のグローバルサーバロードバランシングの状況を表示できるようにするツール（CLI コマンドおよび GSSM GUI モニター ページなど）について説明します。

■ 次の作業